# 答え

●ドリルやテストが終わったら、うしろの「がんばり表」に色をぬりましょう。
●まちがえたら、かならずやり直しましょう。「考え方」もよみ直しましょう。

## 1 ① 九九の表とかけ算 1ページ

1 ①4
②4
③20

2 ①3
②9

3 あ12　い28　う30　え56　お48

**考え方** かけ算では、かける数が1ふえると、答えはかけられる数だけ大きくなり、かける数が1へると、答えはかけられる数だけ小さくなります。

3 あ 18、24、30、36、……
6　6　6

6ずつふえているので6のだんの九九だとわかります。

## 2 ① 九九の表とかけ算 2ページ

1 ①2　②20
③10　④20

2 ①50　②40　③30
④70　⑤10　⑥80
⑦90　⑧80　⑨60
⑩10　⑪100

3 ①0
②0

4 ①0　②0　③0

**考え方** 2 ① かけられる数とかける数を入れかえても答えは同じです。だから、5×10は10×5として計算しても答えは同じです。
⑪10×10は、10×9=90より10大きい数です。だから、10×10=100になります。

## 3 ① 九九の表とかけ算 3ページ

1 ①㋐3
㋑4
②㋐5
㋑3

2 ①4　②7　③3
④9　⑤5　⑥8
⑦6　⑧0

## 4 ① 九九の表とかけ算 4ページ

1 あ0　い0　う0　え40　お90
か0　き22　く66

2 ①1
②4
③6
④0

**考え方** 1 0のだんの答えは、全部0になります。

## 5 ② わり算 5ページ

1 ① ○○○ ○○○ ○○○ ○○○
②3
③12、4

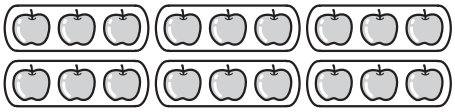
2 ①24、4
②4、24
③6、6
④4

3 式　20÷5=4

答え　4cm

**考え方** 1 12÷4のような計算を「わり算」といいます。12÷4は、「12わる4」とよみます。

## 6. ② わり算 6ページ

❶ ①

②6
③18、3

❷ ①16、2
②16
③8、8
④2

❸ 式（しき） 21÷7=3

答え 3本

**考え方** ❸ 21÷7の答えは、7×□=21の□にあてはまる数で、7のだんを使（つか）います。

## 7. ② わり算 7ページ

❶ (れい)①㋐りんご ㋑30こ
㋒6人 ㋓1人分
(れい)②㋐(れい)みかん ㋑30こ
㋒1人 ㋓6こ

❷ ①4、答え 7
②9、答え 2

❸ ①㋐35こ ㋑5人 ㋒1人分
②㋐35こ ㋑1人 ㋒5こ

**考え方** ❶ 30÷6の式になる問題（もんだい）は「6人に分ける」場合と「6こずつ分ける」場合があります。

## 8. ② わり算 8ページ

❶ ①24、6、4
答え 4きゃく
②4、4、8
答え 8きゃく

❷ 式 32÷4=8
8−2=6
答え 6台

❸ 式 20÷4=5
5+2=7
答え 7つ

**考え方** ❶ 子どもがすわっている長いすと、すわっていない長いすに分けて考えます。
❷ 32÷4=8で、8台のタクシーに乗（の）りました。そのうち2台は出発（しゅっぱつ）したので、8−2=6で、のこっているタクシーは6台です。
❸ ケーキをつめた箱（はこ）は20÷4=5で5つです。箱は、まだ2つのこっているので、5+2=7で、みんなで7つあります。

## 9. ② わり算 9ページ

❶ ①10 ②10 ③0

❷ ①90、3
②9
3、30

❸ 8、10、2、12

❹ ①30 ②40 ③12
④12 ⑤11 ⑥22
⑦32 ⑧23

**考え方** ❹ ③24を20と4に分けて、それぞれを2でわります。20÷2=10、4÷2=2で、10+2=12になります。
⑦96を90と6に分けて、それぞれを3でわります。90÷3=30、6÷3=2で、30+2=32になります。

## 10. ② わり算 10ページ

❶ ①3 ②7 ③4
④1 ⑤4 ⑥0
⑦20 ⑧24

❷ ① 式 42÷7=6
答え 6さつ
② 式 42÷7=6
答え 6人

❸ 式 24÷4=6
6+5=11
答え 11こ

**考え方** ❸ 24÷4=6だから、6パックにたまごを入れました。

**おうちのかたへ** 九九をきちんと覚えていない人は、しっかり復習しておきましょう。

## 11. あれ？　たくさんいたのに……　11ページ

❶ ①㋐5　　㋑のこり(の数)
② 式　3＋5＝8
答え　8こ
③ 式　12＋8＝20
答え　20こ

❷ ①㋐8　　㋑20
② 式　8＋8＝16
20＋16＝36
答え　36まい

**考え方** ❷ 2人の友だちにあげたクッキーの数は、8＋8＝16(まい)です。

## 12. あれ？　たくさんいたのに……　12ページ

❶ ①㋐35　　㋑85
② 式　10＋35＝45
答え　45オ
③ 式　85－45＝40
答え　40オ

❷ ①㋐17　　㋑32
② 式　17＋8＝25
32－25＝7
答え　7人

**考え方** ❷ バスに乗(の)っていた男の人と女の人の数は、17＋8＝25(人)です。

## 13. ③　たし算とひき算の筆算(ひっさん)　13ページ

❶ ①3、8、11
1
②1、5、2、8
③2、1、3
④381

❷ ①4、8、12
1
②1、6、9、16
1
③1、2、1、4
④462

❸ ①771　②856　③601　④800

**考え方** 一の位(くらい)も十の位もくり上がることに気をつけて計算します。くり上げた1をたすのをわすれないようにしましょう。筆算は、けた数が大きくなっても、位をそろえて一の位からじゅんに計算します。

## 14. ③　たし算とひき算の筆算　14ページ

❶ ①2、5、7
②6、2、8
③5、7、12
1
④1287

❷ ①1156　②1222　③1323
④1465　⑤1039　⑥1000
⑦1002　⑧1000

**考え方** 百の位にくり上がりがあるときは、千の位にくり上げましょう。千の位にくり上がっても、やり方はいままでと同じです。

## 15. ③　たし算とひき算の筆算　15ページ

❶ ①8、2、6
②1
13、8、5
③3、1、2
④256

❷ ①1
12、7、5
②4、3、1
③3、1、2
④215

❸ ①345　②293　③27　④77

**考え方** 2けたのときと同じように、位をそろえて一の位からじゅんに、十の位、百の位と計算していきます。くり下がりがあるときには気をつけましょう。

## 16. ③ たし算とひき算の筆算（ひっさん） 16ページ

❶ ①13、6、7　②11、5、6
③3、2、1　④167
❷ ①11、4、7、9　②9、5、4
③3、1、2　④247
❸ ①366　②374　③174　④119

**考え方** くり下がりが2回あることに気をつけましょう。

## 17. ③ たし算とひき算の筆算 17ページ

❶ ①7、4、11、1
②1、6、5、12、2
③1、1、7、9　④4、3、7
⑤7921
❷ ①18、9、9　②6、3、3
③12、5、7　④5、1、4
⑤4739
❸ ①7213　②4164　③4821
④2769　⑤6692　⑥2279
❹ ㋐74　㋑100　㋒689

**考え方** くり上げた1をたしわすれないようにしましょう。また、くり下げた1をひくのをわすれないようにしましょう。
❸ ① 十の位（くらい）にも、百の位にも、千の位にも1くり上がります。
④十の位からも、百の位からも、千の位からも1くり下がります。
❹ 3つの数をたすときは、じゅんじょをかえてたしても、答えは同じです。
26+589+74=(26+74)+589=689

## 18. ③ たし算とひき算の筆算 18ページ

❶ ①582　②521　③1322
④1020　⑤1000　⑥6511
⑦326　⑧188　⑨99
⑩558　⑪303　⑫1793
❷ 式（しき） 147+154=301
答え 301人
❸ 式 500−235=265
答え 265円
❹ ①383　②974

**考え方** けた数がふえても、2けたのときと同じように、くり上がり、くり下がりに気をつけて計算します。
❶ ⑩ 十の位が0のときは百の位から、くり下げます。
❹ 3つの数をたすときは、じゅんじょをかえて、計算しやすくなるようにくふうしましょう。

**おうちのかたへ** 3けたのたし算やひき算の筆算で、ひく数の百の位に数字がないものは0と考えて計算するようにしましょう。

## 19. ④ 時こくと時間 19ページ

❶ 3時25分
❷ 25分
❸ 6時間30分
❹ 3時40分
❺ ①85　②1、35

**考え方** ❷ 7時50分から8時までと、8時から8時15分までに分けて考えます。
❸ 12時までと12時からに分けて考えます。

## 20. ④ 時こくと時間 20ページ

❶ ①60　②1　③60、90
④120　⑤160　⑥60、1、20
⑦1、45
❷ ①65秒　②10秒

## 21. ⑤ 一万をこえる数 21ページ

❶ ①

| 7 | 3 | 4 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 千万の位 | 百万の位 | 十万の位 | 一万の位 | 千の位 | 百の位 | 十の位 | 一の位 |

②7、3、4、5
❷ ①2913067　②6058704
③23105000
❸ ①10　②230
③(じゅんに)一億、100000000
❹ ① >　② <

**考え方** ❹ 何けたの数か調（しら）べます。多いほうが大きな数です。同じけた数のときは、上の位からじゅんに数の大きさをくらべます。

## 22ページ ⑤ 一万をこえる数

❶ ㋐100000　㋑117000
❷ ①12、8、20
　20000、20000
　②12、8、4
　4000、4000
❸ ①120000　②100000
　③63万　④59万
❹ ①61000　②28万

**考え方** ❶ 80000と90000の間に、小さい目もりがいくつあるか調べます。10こあるので、小さい目もりの1目もりは1000を表しています。
❷ 何千のたし算、ひき算は、1000がいくつあるかを考えて計算します。まず、0を3つとった数のたし算、ひき算をします。

## 23ページ ⑤ 一万をこえる数

❶ ①500　②720
　③2100　④68000
❷ ①300　②2600
　③80000　④290000
❸ **式**　130×10＝1300
　**答え**　1300円
❹ **式**　583×100＝58300
　**答え**　58300円

**考え方** ❶ どんな数でも10倍すると、位が1つ上がり、右はしに0を1こつけた数になります。
①の50は500、②の72は720、③の210は2100、④の6800は68000になります。
❷ 100倍は10倍をさらに10倍したものだから、位は2つ上がり、右はしに0を2こつけた数になります。
①の3は300、②の26は2600、③の800は80000、④の2900は290000になります。

## 24ページ ⑤ 一万をこえる数

❶ ①30、10
　②10、30
　③3、3
❷ ①8
　②一
　③10
❸ ①6　②42
　③70　④900

**考え方** ❸ 60や700のように、一の位が0の数を10でわると、位が1つ下がり、一の位の0をとった数になります。
①の60は6、②の420は42、③の700は70、④の9000は900になります。

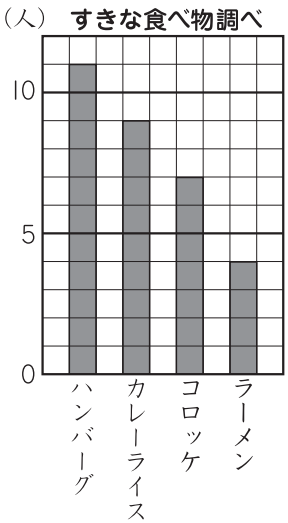
## 25ページ ⑥ 表とグラフ

❶ ①㋐正下　㋑丌　㋒正一
　②㋐8　㋑4　㋒6　㋓18
　③みかん
　④バナナ
　⑤18こ

**考え方** ❶ ①数を調べるには、正の字をかくとべんりです。一は1、下は2、下は3、丌は4、正は5になります。
②正下は、5＋3＝8になります。

## 26ページ ⑥ 表とグラフ

❶ ①ぼうグラフ
　②1台
　③白
　④11台
　⑤4台
❷ 右図



## 27. ⑥ 表とグラフ　27ページ

❶ ①右の表
②22人
③南町
④32人
⑤97人

| 町名＼組 | 1組 | 2組 | 3組 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 東　町 | 9 | 5 | 8 | 22 |
| 西　町 | 10 | 9 | 7 | 26 |
| 南　町 | 7 | 11 | 10 | 28 |
| 北　町 | 6 | 8 | 7 | 21 |
| 合　計 | 32 | 33 | 32 | 97 |

❷ ①正しい
②正しくない

**考え方** いくつかの表は1つにまとめると見やすくなります。
❶ ②東町の人数は、9+5+8=22(人)です。④1組の人数は、9+10+7+6=32(人)です。⑤横の合計とたての合計は、どちらも97人です。
❷ ①2つのグラフをくらべるときは、目もりをそろえるとべんりです。
② 日曜日にテレビをみた時間は60分、本をよんだ時間は30分です。

## 28. ⑦ たし算とひき算　28ページ

❶ ①10、6
②10、35
③6
④41

❷ ①10、8
②10、46
③8
④38

❸ ①86　②92
③141　④34
⑤26　⑥13

## 29. 九九の表とかけ算／わり算　29ページ

❶ ①30　②50　③100
④0　⑤0

❷ ①4　②9

❸ ①4　②6　③4
④1　⑤0　⑥10
⑦20　⑧13　⑨11

❹ 式　30÷6=5
答え　5箱

❺ 式　49÷7=7
7+2=9
答え　9ふくろ

**考え方** ❶ どんな数に0をかけても答えは0です。また、0にどんな数をかけても答えは0です。
❸ わり算の答えは、九九の表を使って調べます。

## 30. たし算とひき算の筆算／時こくと時間　30ページ

❶ ①401　②932　③1101
④1000　⑤139　⑥371
⑦207　⑧88　⑨4741
⑩3202　⑪7579　⑫616

❷ ①50分
②7時間35分
③午前8時10分
④午前6時45分

**考え方** ❷ 長いはりが12にくるところで、2つに分けて考えます。
①8時までが35分で、8時から8時15分までが15分だから、35分と15分をあわせた時間になります。

## 31. 一万をこえる数／表とグラフ　31ページ

❶ ①11000　②20000
③51万　④9万
⑤600　⑥22

❷ ①17009052
②3000000

❸ ①9、1
②302

❹ ①2人　②8人　③月曜日
④4人

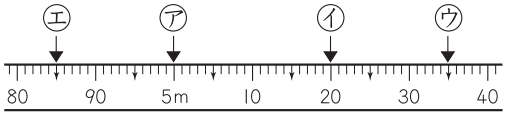
**考え方** ❹ ④木曜日にけっせきした人数は16人で、水曜日にけっせきした人数は12人です。

## 32. ⑧ 長さ　32ページ

❶ ① まきじゃく　② ものさし
③ものさし　④ まきじゃく

❷ ㋐15(cm)　㋑20(cm)
㋒1(m)90(cm)　㋓2(m)12(cm)

❸




## 33. ⑧ 長さ　33ページ

❶ ①800、400、1200
②1000、1、200

❷ ① 式(しき)　1km300m+900m=2km200m
答え　2km200m
(2200m)

② 式　2km200m−1km700m
=500m
答え　500m

❸ ①2　②8000
③1、800　④4500
⑤2、300　⑥3、900

**考え方** ❷ 道にそってはかった長さを道のり、まっすぐにはかった長さをきょりといいます。

## 34. ⑨ あまりのあるわり算　34ページ

❶ ①

②5、1
③16、3、5、1
④3

❷ ① 式　17÷2=8 あまり 1
答え　8 人に分けられて、1 さつあまる。
② 式　17÷3=5 あまり 2
答え　5 人に分けられて、2さつあまる。

❸ 式　25÷3=8 あまり 1
答え　8 たばできて、1 本あまる。

**考え方** わる数のだんの九九を使(つか)って、答えをもとめます。

## 35. ⑨ あまりのあるわり算　35ページ

❶ ①4、3
②6、1

❷ ①2あまり 2　②3あまり 3
③8あまり 3　④6あまり 6
⑤5あまり 6　⑥9あまり 1
⑦8あまり 2　⑧9あまり 1

❸ ① 式　45÷6=7 あまり 3
答え　7 箱(はこ)できて、3 本あまる。
② 式　45÷7=6 あまり 3
答え　1 人 6本になって、3 本あまる。

**考え方** 答えをみてあまりがわる数よりも大きければ、答えはまちがっています。答えを 1 つ大きい数にして計算してみましょう。

## 36. ⑨ あまりのあるわり算　36ページ

❶ ①7÷2=3 あまり 1
②3、1
③3、6
1
④2、3、1

❷ ①2あまり 3
たしかめ　6×2+3=15
②7あまり 2
たしかめ　4×7+2=30
③5あまり 6
たしかめ　9×5+6=51

❸ ①23÷3=7 あまり 2
②○
③50÷7=7 あまり 1

**考え方** わり算の答えは、
(わる数)×(答え)+(あまり)
が(わられる数)になることをりようしてたしかめます。

❷ ① 15÷6=2 あまり3
たしかめ　6×2+3=15
正しい。

## 37。 ⑨ あまりのあるわり算 37ページ

1 ①60÷7=8 あまり 4
②8、4
③9

2 式 25÷4=6 あまり 1
6+1=7 答え 7回

3 式 50÷8=6 あまり 2
答え 6箱

**考え方** あまりのある問題では、あまりをどう考えるのかがたいせつです。
2 25÷4=6 あまり 1 だから、6回運ぶと 1 さつあまります。もう 1 回、のこりの 1 さつを運ばないといけないので、6+1=7 で 7 回になります。
3 50÷8=6 あまり 2 だから、8 こ入りの箱が 6 箱できて、たまごが 2 こあまります。あまった 2 こでは 8 こ入りの箱にならないので、売れる箱は 6 箱です。

## 38。 ⑨ あまりのあるわり算 38ページ

1 ①4あまり 1 ②5あまり 2
③4あまり 4 ④6あまり 2
⑤4あまり 7 ⑥7あまり 6

2 ①31÷4=7 あまり 3
②○
③19÷3=6 あまり 1

3 式 35÷8=4 あまり 3
答え 1 人 4こになって、3 こあまる。

4 式 22÷4=5 あまり 2
5+1=6
答え 6台

**考え方** 4 22÷4=5 あまり 2 だから、5 台に乗ったとき、2 人あまっています。もう 1 台ひつようだから、5+1=6 で 6 台です。

**おうちのかたへ** あまりのあるわり算では、あまりがわる数より小さくなることをしっかりと理解しましょう。答えを書いたあと、書いた答えが正しいか確かめましょう。

## 39。 ⑩ 重さ 39ページ

1 ① はかり
②グラム
③ キログラム
④1000
⑤㋐10
㋑130

2 ①1100
1、100
②1900
1、900

**考え方** 2 1 目もりの大きさを調べます。①・② 大きな目もり 2 つ分が 200g だから、大きな目もり 1 つ分は 100g です。

## 40。 ⑩ 重さ 40ページ

1 ①1600
②㋐いれもの
㋑1600 ㋒200
③1400

2 ①1、200 ②2
③500 ④600

3 バナナ⇨りんご⇨みかん

**考え方** 2 ①500g+700g=1200g
1kg=1000g だから、
1200g=1kg200g です。
②400g+600g=1000g だから、1kg になります。
④1kg100g=1100g と考えます。

## 41。 ⑩ 重さ 41ページ

1 ①4 ②5100

2 ①g ②kg ③cm ④mm
⑤m ⑥L ⑦mL

3 ①1000 ②10 ③1000 ④1000

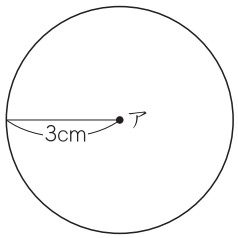
**考え方** 1mm や 1mL のように、m(ミリ)がつくものの 1000 倍は、1m や 1L になります。また、1km や 1kg のように、k(キロ)がつくものは、1m や 1g の 1000 倍になります。

## 42 ⑪ 円と球 42ページ

1 ㋑

2 ①中心　②中心　③半径

3




4 ①直径　②8　③4

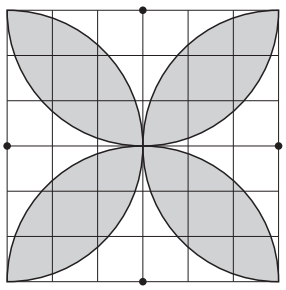
**考え方** 1 コンパスでかいたようなまるい形を円といいます。円の一部がかけていたりまるくないものは円ではありません。

3 コンパスの先を 3cm に開いて、はりをアにさしてかきます。アが円の中心になります。

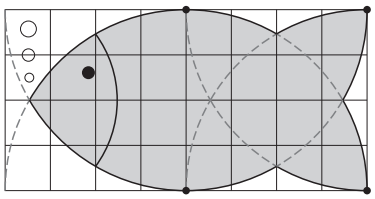
4 半径は直径の半分です。

## 43 ⑪ 円と球 43ページ

1



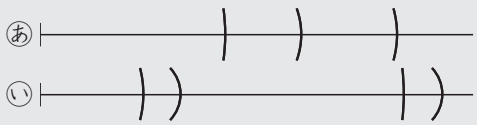
2



3 ㋐

**考え方** 1、2 円の中心をみつけてかきます。●の印のところが円の中心です。

3 コンパスで、長さを直線の上に写しとってくらべます。




## 44 ⑪ 円と球 44ページ

1 ①球
②円

2 ①(球の)半径　②(球の)中心
③(球の)直径

3 ①ま2つ
②16
③7

4 3cm

**考え方** 4 ボールの大きさを表しています。これが直径になります。

## 45 ⑫ 何倍でしょう 45ページ

1 ①㋐赤い　㋑白い
㋒8　㋓40
② 式　40÷8＝5

答え　5倍

2 ①㋐箱1こ　㋑8
㋒たな　㋓56
② 式　56÷8＝7

答え　7cm

3 式　3×9＝27

答え　27cm

## 46 ⑫ 何倍でしょう 46ページ

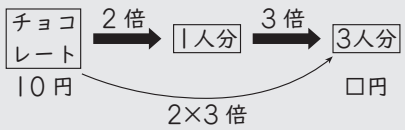
1 ①㋐2　㋑6
㋒4　㋓24
②㋐4　㋑2
㋒4　㋓8

2 式　2×3＝6、10×6＝60

答え　60円

**考え方** もとの数の何倍になるかを考えます。

2




チョコレートを1人に2こずつ買うので、3人分は2×3＝6、6こ買うことになります。チョコレートは1つ10円だから、10×6＝60で、全部で60円になります。10×2＝20、20×3＝60としてもよいです。

## 47. ⑬ 計算のじゅんじょ　47ページ

❶ ① 式（しき） 3×[2]×[4]＝[24]
答え　24こ
② 式 [3]×(2×[4])＝[24]
答え　24こ

❷ ① 式 5×2×4＝40
答え　40円
② 式 5×(2×4)＝40
答え　40円

❸ ①3　②2

**考え方** 多くの数をかけるときは、計算するじゅんじょをかえても、答えは同じです。
❶ ①1人分のドーナツの数は、3×2＝6で、6こになります。4人分のドーナツの数は、6×4＝24で、24こです。
②ドーナツが入っているふくろの数は、2×4＝8で、8ふくろになります。
❸ ①2×5×3＝30
2×(5×3)＝2×15＝30
と答えは同じになります。

## 48. ⑭ 1けたをかけるかけ算の筆算（ひっさん）　48ページ

❶ ㋐2
㋑2　㋒4
㋓80

❷ ㋐2
㋑2　㋒4
㋓800

❸ ① 答え　60
しかた（れい）30は、10が3こ。
30×2は、10が(3×2)こで、
30×2＝60になります。
② 答え　600
しかた（れい）300は、100が3こ。
300×2は、100が(3×2)こで、300×2＝600になります。

❹ ①80　②900
③560　④2100

**考え方** 何十のかけ算は10が何こか、何百のかけ算は100が何こかを考えます。

## 49. ⑭ 1けたをかけるかけ算の筆算　49ページ

❶ ①2　②6

❷ ①
```
  32
×  3
  96
```
②
```
  20
×  2
  40
```

❸ ①1　②2
③2　④5

❹ ①72　②74　③64　④90

**考え方** かけ算の筆算も、たし算やひき算と同じように、位（くらい）をそろえて、一の位からじゅんに計算していきます。まちがえた人は、なれるまで、九九を声に出していいながら計算するとまちがいが少なくなります。
また、❸のようにくり上がりのあるとき、くり上げた数をたすのをわすれた人は、くり上げた数を小さくかいておきましょう。
```
  17
×  3
  21
```
三七21だから、十の位に2くり上げます。小さくかいておけば、たすのをわすれることもないです。

## 50. ⑭ 1けたをかけるかけ算の筆算　50ページ

❶ ①7　②35
③3

❷ ①155　②288　③369　④240

❸ ①12
②1
③25

❹ ①138　②192　③153　④210

**考え方** くり上がって、答えが3けたになる計算に気をつけましょう。また、0をわすれずに書きましょう。

## 51. ⑭ 1けたをかけるかけ算の筆算　51ページ

❶ ①6　②4　③2

❷ ①822　②963　③990
④366　⑤639　⑥848
⑦866

**考え方** (3けた)×(1けた)の筆算も、(2けた)×(1けた)のときと同じように、一の位からじゅんに計算します。百の位もわすれずに計算しましょう。

## 52 ⑭ 1けたをかけるかけ算の筆算（ひっさん） 52ページ

❶ ①1　②28　③14
❷ ①2　②2　③12
❸ ①4452　②3704　③4123
④3515　⑤3609　⑥5430
❹ 式（しき）　306×3＝918

答え　918円

**考え方**　くり上がりのある計算はくり上げた数をたしわすれないようにしましょう。

❸ ④703×5 の筆算のしかたは、

```
   703        703        703
 ×   5  ⇨   ×   5  ⇨   ×   5
 ────       ────       ────
    ¹5         15       3515
 五三15     五れいが0   五七35
```

## 53 ⑭ 1けたをかけるかけ算の筆算 53ページ

❶ ①20、4
②60、60
③4、12
④60、12、72
❷ ①26　②96　③88
④84　⑤48　⑥76
⑦68　⑧92
⑨80　⑩60
⑪96　⑫91

**考え方**　暗算（あんざん）は、かけられる数を2つに分けて計算します。

❷ ①13×2は、13を10と3に分けます。先に、十の位（くらい）を計算すると、10×2＝20、次（つぎ）に一の位を計算すると、3×2＝6、あわせて20＋6＝26だから、答えは26です。
⑥38×2は、38を30と8に分けます。先に、十の位を計算すると、30×2＝60、次に一の位を計算すると、8×2＝16、あわせて60＋16＝76だから、答えは76です。

## 54 ⑭ 1けたをかけるかけ算の筆算 54ページ

❶ ①30、2
②100、4、4
❷ ①217　②56　③180　④222
⑤605　⑥1032　⑦4302　⑧3010
❸ ①36　②60
③88　④75
❹ 式　265×3＝795

答え　795m

## 55 ⑮ 式と計算 55ページ

❶ ①㋐40
㋑40、8、560
②㋐8
㋑8、560
③560円
❷ ①　式　600－400＝200
答え　200mL
②　式　200×4＝800
答え　800mL
❸ ①5、5
②15、4

**考え方**　次のような計算のきまりがあります。

❶　❶　❷
(○＋△)×□＝(○×□)＋(△×□)
❷

❷ それぞれジュース1本のちがいをもとめ、4本分なので、そのちがいを4倍（ばい）します。

## 56 ⑯ 分数 56ページ

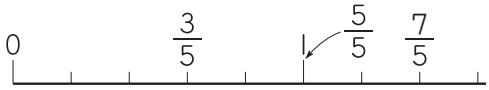
❶ ①2　②$\frac{1}{2}$　③$\frac{1}{4}$
❷ ①$\frac{2}{5}$m
②$\frac{2}{6}$m（または$\frac{1}{3}$m）
③$\frac{8}{10}$m（または$\frac{4}{5}$m）
❸ ①$\frac{1}{2}$L　②$\frac{4}{5}$L
❹ ①$\frac{7}{10}$L　②$\frac{4}{7}$km

## 57. ⑯ 分　数　57ページ

❶ ㋐ $\frac{1}{4}$　㋑ $\frac{3}{4}$

❷ ① 6　② $\frac{5}{7}$　③ $\frac{7}{7}$、1

❸

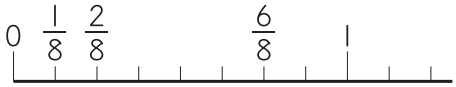



❹ ㋐ $\frac{2}{7}$　㋑ $\frac{5}{7}$

## 58. ⑯ 分　数　58ページ

❶ ㋐ $\frac{4}{5}$　㋑ $\frac{1}{5}$
㋒ ＞　㋓ ＜
㋔ 不等号（ふとうごう）　㋕ ＝
㋖ 等号

❷




答え　$\frac{6}{8}$ のほうが大きい。

❸ ① ＞　② ＝
③ ＜

## 59. ⑯ 分　数　59ページ

❶ ㋐ 1　㋑ 2
㋒ 1　㋓ 2　（㋒と㋓は逆でもよい）
㋔ $\frac{3}{4}$　㋕ ＋　㋖ $\frac{3}{4}$

答え　$\frac{3}{4}$ L

❷ 式（しき）　$\frac{2}{7}+\frac{3}{7}=\frac{5}{7}$

答え　$\frac{5}{7}$ L

❸ ① $\frac{2}{6}$（または $\frac{1}{3}$）　② $\frac{4}{5}$
③ $\frac{7}{7}$（または 1）　④ $\frac{5}{9}$
⑤ $\frac{3}{6}$（または $\frac{1}{2}$）　⑥ $\frac{7}{8}$
⑦ $\frac{8}{9}$　⑧ $\frac{10}{10}$（または 1）

**考え方** ❸ ① $\frac{1}{6}+\frac{1}{6}$ は、$\frac{1}{6}$ が（1＋1）こで $\frac{2}{6}$ となります。

## 60. ⑯ 分　数　60ページ

❶ ㋐ 3　㋑ 1
㋒ 3　㋓ 1
㋔ $\frac{2}{4}$（または $\frac{1}{2}$）　㋕ ー
㋖ $\frac{2}{4}$（または $\frac{1}{2}$）

答え　$\frac{2}{4}$ L（または $\frac{1}{2}$ L）

❷ ① $\frac{1}{5}$　② $\frac{1}{6}$
③ $\frac{5}{8}$　④ $\frac{1}{9}$
⑤ $\frac{2}{7}$　⑥ $\frac{3}{10}$
⑦ $\frac{1}{2}$　⑧ $\frac{2}{3}$
⑨ $\frac{2}{7}$　⑩ $\frac{1}{10}$

**考え方** ❷ 1から分数をひくときは、分母をその分数にあわせます。⑦は $1=\frac{2}{2}$、⑧は $1=\frac{3}{3}$、⑨は $1=\frac{7}{7}$、⑩は $1=\frac{10}{10}$ として計算します。

## 61. 間の数　61ページ

❶ ①〔左〕○○●○○○○○●○〔右〕
② 式　2＋3＝5
10－5＝5

答え　5人

❷ ① 5つ
② 式　4×5＝20

答え　20m

❸ 式　7－1＝6
5×6＝30

答え　30cm

**考え方** ❷ このような問題（もんだい）は、間の数がいくつあるかに注目（ちゅうもく）して考えます。
❸ たねが7つぶのとき、たねとたねの間の数は、たねの数より1つ少なくなります。間の数は、7－1＝6で、6つです。

## 62. 長さ／あまりのあるわり算／重さ／円と球　62ページ

1 ①2000　②8、600
③4、100　④500

2 ① **答え**　3あまり2
**たしかめ**　6×3+2=20
② **答え**　7あまり4
**たしかめ**　5×7+4=39
③ **答え**　7あまり2
**たしかめ**　8×7+2=58

3 ① **式**　1kg600g+800g=2kg400g
**答え**　2kg400g
② **式**　1kg600g−800g=800g
**答え**　800g

4 ①中心　②16　③円

**考え方** 1 ③たんいが同じ900mと200mをたして、1100m。1100m=1km100mだから、3km+1km100m=4km100m
3 ②1kg600gを1600gになおして計算します。1600g−800g=800g

## 63. 何倍でしょう 1けたをかけるかけ算の筆算／分　数　63ページ

1 ①138　②310　③172　④171
⑤723　⑥1530　⑦5341　⑧3141

2 **式**　245×3=735　**答え**　735こ

3 ① **式**　15×3=45　**答え**　45本
② **式**　45÷5=9　**答え**　9本

4 ①$\frac{5}{7}$　②$\frac{7}{9}$
③$\frac{3}{5}$　④$\frac{5}{10}$（または$\frac{1}{2}$）
⑤$\frac{8}{8}$（または1）　⑥$\frac{1}{2}$

**考え方** 3 ②黄のチューリップの本数を□本として考えます。

黄のチューリップ □本 ──5倍──▶ 白のチューリップ 45本

**おうちのかたへ**　かけ算の筆算は大切です。間違えた人は、繰り返し練習しましょう。

## 64. ⑰ 三角形　64ページ

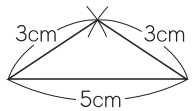
1 ①二等辺三角形　②正三角形

2 ①あ、か
**わけ**　2つの辺の長さが等しい三角形だから。
②う、え
**わけ**　3つの辺の長さがみんな等しい三角形だから。

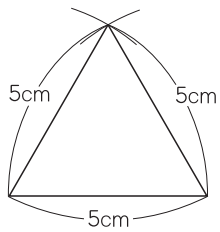
**考え方** 2 コンパスを使って、長さの同じ辺がいくつあるかをみつけます。2つの辺の長さが等しければ、二等辺三角形です。また、3つの辺の長さがみんな等しければ、正三角形です。それぞれの三角形のとくちょうをしっかりおぼえておきましょう。

## 65. ⑰ 三角形　65ページ

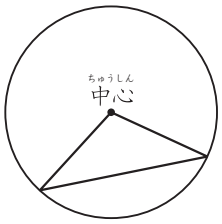
1 ①



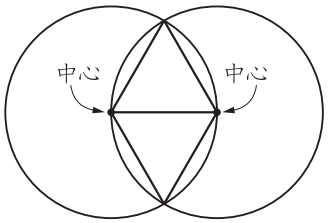

②




2 ①（れい）




②（れい）




2つの正三角形のうち、どちらか1つがかければよい。

**考え方** 2 ①円の半径はどれも同じ長さだから、2つの半径をひいて、それを2辺とする三角形をかきます。
②2つの円の中心と中心をつなげた直線は、それぞれの円の半径になります。のこり2つの辺が円の半径になるようにします。

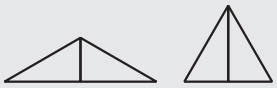
## 66. ⑰ 三角形 66ページ

❶ ①辺　②角　③辺
④2　⑤3

❷ ①いとえ
②いとえ、おとか
③う
④二等辺三角形と正三角形
⑤二等辺三角形

❸ 二等辺三角形

**考え方** ❷ ④ 図1の三角じょうぎを2まいならべてできる三角形は、右図のとおりです。



二等辺三角形　正三角形

⑤ 図2の三角じょうぎを2まいならべてできる三角形は、右図のとおりです。

二等辺三角形

## 67. ⑱ 小数 67ページ

❶ ㋐$\frac{2}{10}$　㋑0.1　㋒2
㋓0.2　㋔1.2

❷ ㋐$\frac{1}{10}$　㋑0.1　㋒8
㋓0.8　㋔7.8

❸ ①3.9　②4、6　③0.3
④6.4　⑤8、3

**考え方** ❶ 1目もりは0.1Lです。

## 68. ⑱ 小数 68ページ

❶ ㋐4、2　㋑42

❷ ㋐0.6　㋑1.3　㋒2.8　㋓3.4

❸ ①2.6　②0.9

❹ $\frac{6}{10}$、$\frac{6}{10}$、
<

❺ ①<　②<
③<　④=

**考え方** ❷ 数直線の1目もりは0.1です。
❸ ①0.1を10こ集めた数が1だから、0.1を20こ集めた数は2です。
2と0.1が6こで、2.6です。

## 69. ⑱ 小数 69ページ

❶ ①㋐0.5+0.3　㋑3
㋒3　㋓0.8
②㋐0.5−0.3　㋑5
㋒3　㋓0.2

❷ ①0.7　②0.5　③1
④1.2　⑤2.4　⑥3
⑦0.3　⑧0.4　⑨0.4
⑩2.9　⑪9　⑫5.1

**考え方** ❶ 0.1が何こになるかを考えます。
❷ ③0.1が(6+4)こ。0.1が10こで1。

## 70. ⑱ 小数 70ページ

❶ ㋐58　㋑5.8　㋒24　㋓2.4

❷ ①4.5　②9.2　③10.7　④7.8
⑤10.9　⑥12　⑦3.5　⑧3.4
⑨2.6　⑩5　⑪0.2　⑫0.4

**考え方** ❷ ④ 同じ位どうしを計算します。
2は2.0と考えるとまちがいません。
⑧9は9.0と考えて、計算しましょう。
⑪ $\begin{array}{r} {}^{2}\cancel{3}.1 \\ -2.9 \\ \hline 0.2 \end{array}$　一の位に0をかくのをわすれないようにしましょう。

## 71. ⑲ 2けたをかけるかけ算の筆算 71ページ

❶ ① 式　32×2=64
答え　64円
②㋐20　㋑10、2、10
㋒ 答え　640円

❷ 10

❸ ①550　②390　③780
④1480　⑤4130　⑥4320
⑦1500　⑧2400

**考え方** ❶ 32×20は、(32×2)を10倍すると、もとめられます。
32×2=64だから、32×20=640です。
❸ ⑤59×70は、(59×7)を10倍すると、もとめられます。
59×7=413　59×70=4130
10倍

## 72. ⑲ 2けたをかけるかけ算の筆算（ひっさん） 72ページ

**1** ①㋐20　㋑3
㋒620　㋓93
㋔713
②㋐93　㋑62　㋒713

**2** ①43×7=301
②43×50=2150
③301+2150=2451

**3** ①
```
  14
 ×22
  28
 28
 308
```
②
```
  83
 ×26
 498
166
2158
```
③
```
  60
 ×24
 240
120
1440
```
④
```
  53
 ×30
  00
159
1590
```

**考え方** かける数が2けたになっても、1けたのときと同じように位（くらい）をそろえて、一の位からじゅんに計算します。

## 73. ⑲ 2けたをかけるかけ算の筆算 73ページ

**1** ①㋐20　㋑3
㋒6420　㋓963
㋔7383
②㋐963　㋑642　㋒7383

**2** ①
```
  252
 × 32
  504
 756
 8064
```
②
```
  374
 × 25
 1870
 748
 9350
```
③
```
  389
 × 42
  778
 1556
 16338
```
④
```
  700
 × 43
 2100
2800
30100
```
⑤
```
  405
 × 52
  810
2025
21060
```

**考え方** (2けた)×(2けた)と同じように計算しましょう。

## 74. ⑲ 2けたをかけるかけ算の筆算 74ページ

**1** ①260　②1020
③2350　④4200

**2** ①
```
  12
 ×21
  12
 24
 252
```
②
```
  38
 ×70
  00
266
2660
```
③
```
  43
 ×26
 258
 86
1118
```
④
```
  51
 ×49
 459
204
2499
```
⑤
```
  64
 ×73
 192
448
4672
```
⑥
```
  192
 × 13
  576
 192
2496
```
⑦
```
   584
 ×  62
  1168
 3504
36208
```
⑧
```
  300
 × 29
 2700
 600
8700
```

**3** 式（しき）　42×17=714
答え　714こ

**4** 式　28×34=952
答え　952cm

**おうちのかたへ** 2けたをかけるかけ算は大切です。間違えた人は、もう一度、やりなおして繰り返し練習しましょう。

## 75. ⑳ □を使（つか）った式 75ページ

**1** ①□+2=14
②㋐10　㋑11　㋒12
㋓14　㋔13　㋕12

**2** ①㋐30　㋑17
式　30−□=17
②　答え　13こ

## 76. ⑳ □を使った式 76ページ

**1** ①□×4=24　②6

**2** ①28÷□=4　②7

**3** ①　式　27+□=42
②　答え　15さつ

**考え方** **1** ①(1皿（さら）のいちごの数)×(皿の数)=(いちご全部（ぜんぶ）の数)になります。
②□×4=24 にいろいろな数をあてはめます。

$\boxed{4}\times4=16$ →×、$\boxed{5}\times4=20$ →×、
$\boxed{6}\times4=24$ →○、$\boxed{7}\times4=28$ →×
だから、6。または、□＝24÷4、□＝6
と考えることもできます。

❷ ①(全部の数)÷(人数)＝(1人分の数)
になります。

## 77. そろばん　77ページ

❶ ①251　②740　③3609
❷ ①㋐、㋑　②㋑、㋑　③㋒、㋑
❸ ①76　②23　③121　④38

**考え方** そろばんのたし算、ひき算は、左のけたから右のけたへ、じゅんに計算します。

## 78. わり算／一万をこえる数 時こくと時間　78ページ

❶ ①9　②9　③5
④7　⑤9　⑥1
⑦10　⑧0　⑨12
⑩5あまり1　⑪4あまり4
⑫7あまり2　⑬9あまり6
❷ ㋐65000　㋑97000　㋒110000
❸ ①4時間10分
②12時35分

**考え方** ❷ 1目もりは、10000を10等分した1こ分だから、1000です。

**おうちのかたへ** わり算の答えを求めるには、九九を使います。九九をしっかり復習しておきましょう。

## 79. たし算とひき算の筆算／2けたをかけるかけ算の筆算／□を使った式　79ページ

❶ ①721　②1032　③4331
④614　⑤488　⑥2689
❷ ①840　②3600

③
```
  23
 ×12
  46
 23
 276
```

④
```
  36
 ×24
 144
 72
 864
```

⑤
```
  58
 ×43
 174
 232
 2494
```

⑥
```
  63
 ×27
 441
 126
 1701
```

⑦
```
  90
 ×39
 810
 270
 3510
```

⑧
```
  72
 ×40
  00
 288
 2880
```

⑨
```
  152
 ×  47
 1064
 608
 7144
```

⑩
```
  316
 ×  69
 2844
 1896
 21804
```

❸ ①□×9=54　②6

**考え方** ❶ 4けたのたし算、ひき算も3けたのときと同じように、一の位からじゅんに計算していきます。くり上がり、くり下がりの数もふえるので、気をつけましょう。

**おうちのかたへ** かけ算の筆算はとても大切です。間違えた人は、どこで間違えたのかをみて、何回もやりなおしましょう。

## 80. 長さ／重さ／分数／小数　80ページ

❶ ①2　②2、700
③1、600　④4、800
❷ ① $\frac{4}{6}<\frac{5}{6}$ (または、$\frac{5}{6}>\frac{4}{6}$)
② $1>\frac{3}{4}$ (または、$\frac{3}{4}<1$)
❸ ① $\frac{3}{5}$　② $\frac{7}{8}$　③ $\frac{2}{4}$ (または $\frac{1}{2}$)
④ $\frac{1}{6}$　⑤ $\frac{2}{2}$ (または1)　⑥ $\frac{4}{7}$
❹ ①0.7　②7.5　③10.4
④0.7　⑤2.6　⑥3.2
⑦5.4　⑧9.6　⑨6.4　⑩2.3

**考え方** ❹ 小数のたし算、ひき算は、同じ位どうしをたしたり、ひいたりします。筆算にかくときは、小数点がたてにならぶようにかいて計算します。

**おうちのかたへ** 小数の筆算では、答えの小数点を書き忘れないようにしましょう。また、答えが、整数になることもあります。そのときの答えは、8.0や4.0のように書かず、小数点と0を消して、8、4のように答えましょう。